

施策を踏まえた具体的な取組

- 【設置者における指導・助言・確認の観点】(例)  
(重点推進のポイントに基づき指導・助言・確認する)
- 求められる資質・能力を身に付ける授業改革の推進
  - 教育課程の不断の見直し
  - 到達(数値)目標を設定した客観的調査等の取組と分析
  - 業務改善状況の把握、数値目標を設定した時間外勤務の縮減
  - 地域住民へ学力の状況等の説明・協議会の設定

【各学校における評価項目】(学校評価に位置付けて客観的・適正に評価)

- 授業改革を積極的に進め、求められる資質・能力を育成した。(数値目標設定)
- 教育課程の不断の見直しを進め、求められる資質・能力を育成した。
- 学力に関する客観的な結果に基づき、資質・能力を育成する検証改善の取組を推進した。
- 勤務時間内で資質・能力を育成するための業務改善に取り組んだ。(数値目標設定)
- 義務教育9年間一貫した教育課程を編成するとともに、高等学校教育との円滑な連続・継続性を踏まえた資質・能力の育成に取り組む。また、その状況を保護者・地域住民等に説明し、理解と連携・協力を得る。

【宗谷局】

重点推進のポイント

重点

### 1 授業改革

#### 資質・能力の 確実な育成

- ・ 個別最適な学びと協働的な学び
- ・ 主体的・対話的で深い学び
- ・ 生徒指導の3つの機能の活用

### 2 学校経営

#### 教育課程を決める

- ・ 「選択と決断」遂行
- ・ カリキュラム・マネジメントの充実
- ・ 校長の意思決定が機能する組織構築
- ・ 3層に対応した柔軟な教育課程

### 3 検証改善

#### OVER70実現

- ・ 義務教育の機会均等
- ・ 義務教育の水準確保
- ・ 客観的調査結果の重視と分析の充実
- ・ 3層に対応した検証改善の充実

### 4 働き方改革

#### 学校本来の役割

- ・ 資質・能力を育成する業務へ集中するための「選択と決断」
- ・ 「授業改革」を優先する業務改善
- ・ 勤務時間内で業務処理・完結する体制

### 5 小中高12年

#### 小・中・高の 連続性・継続性

- ・ 小・中9年間一貫した教育課程
- ・ スクールミッション/ポリシーを踏まえた12年間
- ・ 地域住民等が理解・参画する学力保障

## 【重点】 資質・能力を確実に育成する学力保障

OVER70の実現 12年間継続する学力保障

【道教委】  
教育行政  
執行方針

1 ウィズコロナ・ポストコロナにおける新たな学び

2 生涯を通じ、個性が輝き、豊かさを実感できる教育の推進

3 北海道への誇りと愛着を持ち、未来を切り拓く人づくり